

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 児童にとって「分かる授業」を展開する。
- 基礎・基本の定着を図るために、児童の実態に応じた適応問題に取り組む時間の確保を充実させる授業を工夫する。
- 家庭学習のより一層の啓発を促し、学校・家庭が協力して学力向上に取り組む。

＜本年度の学力向上策＞

- 児童にとって「分かる授業」を展開する。
 - ・主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善）を実現することができるように、児童一人ひとりの実態に応じた「学び方」の指導の充実を図る。
 - 実生活に即して場面設定、体験活動の充実、目的意識をもった伝え合いの充実
- 基礎・基本の定着を図るために、児童の実態に応じた適応問題に取り組む時間の確保を充実した授業を工夫する。
 - ・「よい授業」の因子を基に、授業マネジメントを円滑に行い、「基礎アップ」につながる適応問題に取り組む時間を確保する。
 - 大久保スタンダードに基づく授業展開の徹底
- 家庭学習のより一層の啓発を促し、学校・家庭が協力して学力向上に取り組む。
 - ・「大久保小学校家庭学習の手引き」に基づき、保護者の協力を得て、児童一人ひとりがより主体的に学習に取り組むことができるようにする。
 - 毎日の家庭学習の提示、保護者による確認の徹底などの学力向上に向けた協力の啓発

＜本年度の振り返り＞

- 児童一人ひとりの実態に応じた「学び方」の指導の充実を図った。学校に関するアンケートでは8割の児童が「授業が楽しい」「よく分かる」と回答した。体験活動の充実や目的意識をもった伝え合いの授業をより充実させていく。
- 基礎・基本の定着を図るための指導方法の工夫改善に努めた。全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査の算数においては、平均正答率が前年度よりも向上しており、特に思考力・判断力を問う問題での正答率が高まっていた。今後も、児童が「分かった」「できた」を実感することができるように、課題解決型の授業を充実させるとともに、適応問題に取り組む時間の確保を徹底するなど、さらなる指導方法の工夫改善に継続的に取り組んでいく。
- 家庭学習の充実のため、「大久保小学校家庭学習の手引き」に基づいて、繰り返し指導した。学校に関するアンケートでは、「家庭学習に取り組んでいた」と多くの児童が回答したものの、保護者の回答状況とは大きな差があった。児童がより主体的に家庭学習に取り組むための課題提示の工夫や、保護者による確認方法などを研究していく。